

## 第 1899 回例会報告

令和 8 年 1 月 29 日(木)晴



### ◇会長告知◇会長 小口 直久

皆さん、こんにちは。  
本日もお忙しい中、例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。  
本日はゲストとして、岡谷市長 早出一真様をお迎えしております。後ほど岡谷市をテーマにお話を伺えることを、会員一同とても楽しみにしております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

今回、岡谷市長をお招きするにあたり、岡谷市のホームページを拝見させていただきました。

私自身、製造業に携わっていることもあり、「SILK OKAYA」に関する記事を大変興味深く、また楽しく読ませていただきました。岡谷市といえば、やはりシルクのまちとしての歴史が思い浮かびます。

シルクは、単なる産業というだけではなく、先人の知恵や努力、そして誠実なものづくりの姿勢そのものを象徴する存在だったのではないのでしょうか。そうした積み重ねが、岡谷というまちの礎を築いてきたのだと感じます。

しかし、時代は移り変わり、私たちを取り巻く環境も大きく変化してきました。人口減少や産業構造の変化など、地域にとっては決して簡単に解決できない課題も増えています。だからこそ今、「これまで大切にしてきたものを、どのように未来へつないでいくのか」という視点が、より一層重要になっているように思います。「SILK OKAYA」という言葉には、過去を懐かしむだけではなく、岡谷が歩んできた歴史を誇りとして、次の時代へ前向きにつないでいこうという思いが込められているのではないのでしょうか。

伝統を大切にしながら、新しい価値を生み出していく…その姿勢は、まさに今の時代に求められているものだと感じます。現在も岡谷市でシルクに関わる方々が紹介されており、地域の歴史や文化を守り、次世代へ伝えようとする姿に、深い感銘を受けました。

私たちロータリーが大切にしている「職業奉仕」も、まさにそこに通じるものがあるのではないのでしょうか。それぞれが自らの仕事に誇りを持ち、その力を地域や社会のために役立てていくこと。それは決して特別なことではなく、日々の仕事に真摯に向き合い、信頼を積み重ねていく、その一つ一つの姿勢そのものだと思います。岡谷市が製糸業を通じて社会に貢献してきた歩みは、まさにそうした職業奉仕の積み重ねだったのではないのでしょうか。自らの職業を通じて社会に価値を届けること、そしてその姿勢を次の世代へとつないでいくこと。「SILK OKAYA」の歩みを振り返ることは、私たち

自身の仕事やロータリー活動を見つめ直す、よい機会になるのではないかと感じました。

最後に、岡谷市のさらなるご発展と、市長のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

本日も有意義な例会にしましょう。よろしくお願いいたします。

### ◇幹事報告◇ 幹事 成山秀幸

#### 【連絡事項】

1. 来週 5 日は夜間ディスカッション例会、再来週 12 日は休会、そのため次回通常例会は 19 日、下諏訪町長の新春卓話となります。また、22 日のIMが例会扱いとなり、26 日は振替休会となります。お間違えの無いようお願い致します。

#### 【受領文書】

ロータリー財団より寄付金領収書、小諸RCよりオープン例会のパンフレット



### 【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	33 人	8 人	14,000 円
出席対象	30 人	前回累計	434,000 円
出席者数	20 人	累計	448,000 円
出席率	%	目標額	70 万円
前回修正出席率	%	達成率	64.1%



本日は大変お忙しい中、岡谷市長 早出一真様にお越し頂いております。岡谷市のお話を直接伺える貴重な機会ですので、ぜひ楽しみにお話をお聞きたいと思っております。本日もどうぞ、よろしくお願い致します。

小口直久  
当クラブも会員であり、大澤会員が初代会長を務めました湖上連は本年45周年です。記念講演会が2月1日にあります。県の取り組みを聞きませんか。岡谷早出市長、本日は宜しく申し上げます。

萩田均

早出市長さん本日はお忙しい所ありがとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

小林聖仁

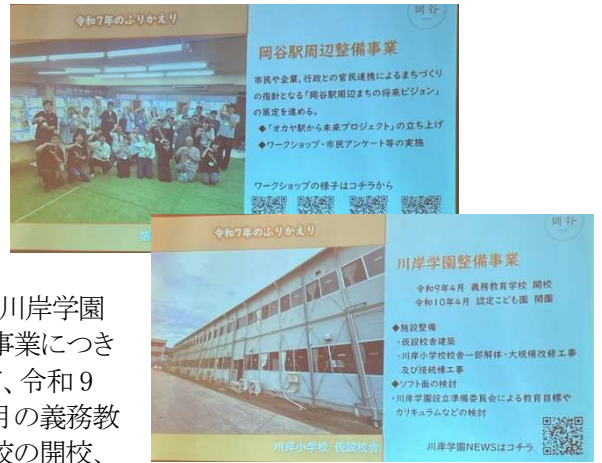
高校2年の孫 和滉が第69回日本学生科学賞、高校の部で科学技術政策担当大臣賞を受賞した。今年5月に米・アリゾナ州で開かれる世界最大の高校生科学コンテスト「国際学生科学技術フェア」へ日本代表として派遣されることになった。「オジギソウの刺激識別と学習能力」がテーマ中学1年より同研究を始めている。成果が出て努力が実った。私も陰ながら資金面で援助を続けてきた。

小松孝弘



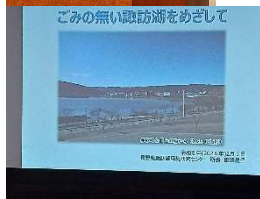
10年に長野県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に対応するため、国スポ・全障スポ推進室を作りました。

昨年は岡谷市の未来への投資である、二つの事業に着手致しました。まず岡谷駅周辺整備事業は、中長期的な視点で街の将来を描き、市民や企業の官民連携によるまちづくりの指針となる、岡谷駅周辺まちの将来ビジョンの策定を進めるため、「オカヤ駅から未来プロジェクト」を立ち上げました。



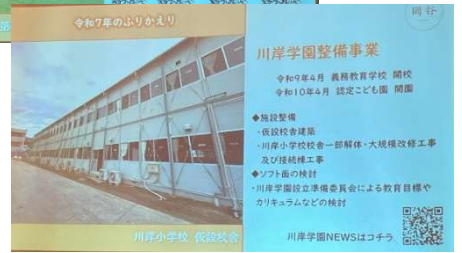
## ◇委員会報告◇

2月1日に、下諏訪総合文化センターで、湖浄連主催、諏訪湖環境センター所長 田邊皇子さんの講演会がごさいます。また、2月7日から3月1日まで、過去の諏訪湖浄化ポスター150点が展示されます。ぜひ、足を運んでみて下さい。



当日の出席者数は延べ45名、当クラブからは、小口会長、萩田均会員、小松孝弘会員が出席されました

また、川岸学園整備事業につきまして、令和9年4月の義務教育学校の開校、令和10年4月の認定こども園の開園に向けて、施設整備を進めて参りました。まず第一工事として、仮設校舎の建設を行ないました。今月から仮設校舎で、子供達が元気に学校生活を送っています。



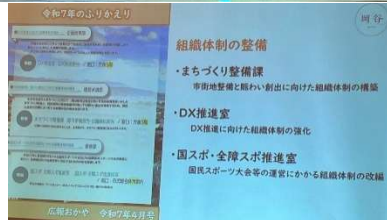
## ◇例会内容◇

会長幹事担当例会

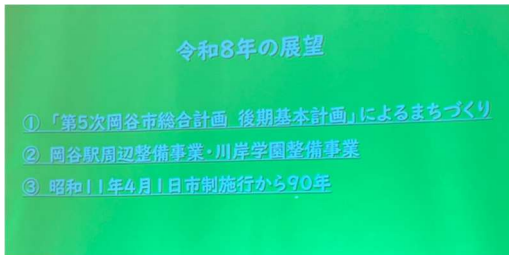
岡谷市長早出一真様  
新春卓話



本日は、諏訪湖RCの例会に呼んでいただきまして、ありがとうございます。令和8年は丙午の年でございます。丙は火の性質を持ち、行動力を象徴する物であります。また午はエネルギーや成功などを表し、この二つが合わさることで、情熱に溢れた一年になると言われております。私も熱いエネルギーを持って市政運営に臨みたいと思っております。本日は昨年を振り返りつつ、本年の展望をお話させていただきます。



昨年は、新しい組織をたくさん作りました。まず、岡谷駅周辺の街づくり、そして諏訪湖周の環境整備、賑わい創出のために、まちづくり整備課を作りました。そして、今後のDXの効率的かつ効果的な推進のためにDX推進室、また令和



令和8年は、「第5次岡谷市総合計画 後期基本計画」によるまちづくりの3年目として、令和10年度末の計画期間に向けて、一つ一つの施策を進めております。

市民一人一人に笑顔と元気があふれ、年齢や性別に関係なく、全ての市民に活躍の場がある、岡谷市を目指していきたいと思っております。

本日は私の公約の一つである子育て支援について、お話しさせていただきます。一例を申しますと、結婚のための出会いの場の創出事業、低年齢期に安心して出産子育てできる出産子育て応援事業などを行なって参りました。この一番の目的はやはり、人口減少・少子化です。ここを手厚くすることで、出生数を増やしていきたいということで、実際人口が増えてはいませんが、人口減少を少し鈍化させるため、進めたいと思っております。

続いて、令和8年度小学校の給食無償化を進めており、恒久的な財源が必要となりますが、地方自治体の財政では難しい所、国の学校給食無償化にむけて動きが進んだため、岡谷市でも小学校の学校給食無償化を実現してまいりたいと思ひます。

中学校の給食につきましても、現在2割負担しているところ、3割に拡充したいと考えております。諏訪湖RCの皆様にはそれぞれの御立場で、引き続き地域振興及び地域の活性化にご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。